内海ITU事務総局長

ジュネーブ便り

（2003年6月）

◎6月の事務総局長の主な動向

6月2～6日　ITU無線通信総会（ジュネーブ、ITU）

G8エビアンサミットの影響で、ジュネーブでも物々しい警備が行われているなか、無線通信の世界標準を勧告するITU無線通信総会（RA-2003）が開催されました。今回は、これまで特に衛星通信の分野で貢献されてきた伊藤泰彦氏（KDDI、ITU-R SG4議長）が、全体議長を務めました。『ITUジャーナル』7月号に、RAの速報が出ていますが、このRAでは、5GHz帯の無線LANと地球探査衛星業務およびレーダーとの共用技術、パソコンやAV機器で10m程度の情報伝送用に使用されるUWB（超広帯域）システムと他の無線通信との共用についての研究の開始、IMT-2000の高度化および後継システム（第4世代携帯電話）のビジョンを勧告として採択しました。

特に、IMT-2000に関しては、欧州、アラブ、アジアとそれぞれの思惑が絡み合い、全体の合意がなかなか得られなかったところですが、伊藤議長の見事な采配でまとめ上げることができました。

6月3日　小泉首相との会談（ジュネーブ）

G8エビアンサミットに出席された小泉首相がジュネーブに立ち寄られ、夕食を兼ねて会談いたしました。首相は、国際機関で働く邦人の苦労や活躍にご関心があり、私からはWSIS（世界情報社会サミット）のような大イベントを国際機関の中でリードしていく難しさや意義などをご説明申し上げました。

6月5日　ITU理事会オーバーサイトグループ会合（GOS、ジュネーブ）

5月のITU理事会において、予算準備プロセスの透明化、内部機能の強化、ITUテレコムをプロジェクト指向にするための組織見直しなどITUの運営改善のために短期的期間に実施すべき12の勧告が採択されました。それらの勧告の実施状況を監督して、10月の追加理事会で審議される2004-05年予算案の作成を事務局と連携して確認するCOG会合（理事国から10カ国がメンバー）が開催されました。

追加理事会において、円滑で効率的な議論を行うために、このCOG会合から助言されるガイドラインに従って、ITU事務局は追加理事会の準備を進めていくことにしています。各COGメンバーも、厳しい財政状況のなかでの事務局作業の難しさには理解があり、7月末までに2004-05年予算案をまとめることで合意しています。

6月9日～7月4日　ITU世界無線通信会議（ジュネーブ、ITU）

周波数分配をはじめとする国際的な電波秩序を規律する無線通信規則（Radio Regulation）を改正するITU世界無線通信会議（WRC-03）が開催されました。

この会議は、各国の周波数使用権益に直接関係する事項が議論され、さながら周波数の争奪合戦のように毎回議論が白熱しますが、今回もIMT-2000の後継システムの取り扱い、準天頂衛星の取り扱い、5GHz帯無線LANなどの周波数再分配、航空機インターネットへの周波数分配などについて多くの議論が交わされました。

各国とも、技術革新の進展や需要の変化に合わせて、新しい無線通信サービスを開拓していくことの必要性は理解していることから、各国の利害対立はあるものの、各議題において将来の無線通信サービスの発展につながる結果が得られました。

6月12日　ヨルダン国王との昼食会（ジュネーブ、ILO）

ヨルダンのアブドラ国王が、ILO（国際労働機関）総会に出席するためジュネーブに来られたことから、各国際機関の長を招いた昼食会がありました。現在、ヨルダンは、ICTを発展のための重要分野として位置付けていて、WSISで採択される宣言や行動計画に関心を持っています。

アブドラ国王ご自身がWSISに関心があることから、ヨルダンとしてWSIS準備プロセスにどのように貢献していくのか、今後、WSIS事務局と連絡および調整していくこととなりました。

6月13日　WSIS戦略委員会（ジュネーブ、ITU）

WSIS準備のために、プロトコル、セキュリティおよびサミット本番のプログラム構成など取り組むべき課題はたくさんあります。そのため、WSIS準備プロセスを強力に推し進めるために、スイス政府およびUNDPからWSIS事務局に出向している職員、スゴンドWSIS特別大使（元ジュネーブ州大統領）およびITUスタッフなど少数の主要メンバーで構成するWSIS戦略委員会を立ち上げました。今後、この委員会を中心に準備を進めていく予定です。

6月16～18日　WSISアラブ地域準備会合出席、エジプト訪問

WSISへのアラブ地域からの入力をまとめるWSISアラブ地域準備会合が、エジプトで開催されました。大臣級が参加した同会合では、WSISへの入力として、“アラブ情報社会に向けて”と題した独自の行動計画および宣言（カイロ宣言）がまとめられました。

アラブ連盟の情報通信大臣会合も本会合と連携して開催され、WSISに向けたアラブ諸国の一致団結した取り組みを支持する勧告が採択されました。

また、ITUテレコムアフリカ2004がエジプトで開催されることもあり、エジプト政府内のITUテレコムアフリカ準備委員会に出席して、関係大臣らに対してITUテレコムアフリカの成功に向けて事務局と調整しながら準備を進めることを要請しました。

6月23日　WSISハイレベルサミット組織委員会（HLSOC）特別会合（ジュネーブ）

HLSOC会合は、UNESCO、UNDP、WBなど国連専門機関で構成され、WSISの準備を進めるために設置されている会合です。今回は、各機関が共同してWSISへの入力文書を提出するための議論を行いました。各機関で行われているICT関連の活動をまとめてWSISに入力すること、WSIS本番において行われるラウンドテーブルで各機関がモデレーターなどの役割を果たすことがまとめられました。

6月24日　ITU理事会オーバーサイトグループ第2回会合（GOS、ジュネーブ）

昨年のマラケシュ全権会議で採択された財政計画に基づき、また、分担金などの実際のITUの収入を考慮したITUスタッフ削減計画案、コスト削減計画案を事務局から提示しました。10月の追加理事会に提出される予算案の構成についても議論を行い、今後、ITU事務局と連携しながら予算案作成の作業を進めていくことが確認されました。

6月28日～7月1日　サンクトペテルブルグ訪問

東欧諸国の電気通信主管庁で構成されるRCC（Regional Commonwealth in the field of Communication）の首脳会議出席のため、サンクトペテルブルグを訪問しました。同会合は、サンクトペテルブルグ300周年記念事業の一つとして行われており、ロシア、スロベニアなど東欧諸国の大臣級が出席しました。先方からの要請もあり、WSISの開催意義などを説明したところ、各大臣ともにWSIS開催の必要性を再認識していただき、今後、各国においてWSIS盛り上げに協力してくれることとなりました。